一般質問

町政全般にわたって7名の議員から執行部の施策をただした

一回目の質問及び答弁を掲載しました。
主な質問並びに答弁の要旨は、次の通りです。

葉たばこ農家の支援と振興対策は。

町長…低単収であるが昨年と様相が違う。

福井源乃介議員

質問 知名町こども医療費助成事業は、市町村民税非課税世帯以外の世帯においては、毎月の支払額から三千円を控除した額となっている。子育て支援策である以上、全世帯において無料化を図るべきではないか。

答弁 町長＝「全ての世帯において無料化」を図るべきではについて、現在、前向きに研究している。例えば、国の制度である過疎債のソフト事業を活用するなど、子育て世代の負担軽減に繋がるような方策を講じたいと考えている。国の動向を見ながら検討する。

質問 本町においてもゲリラ豪雨が発生し、町道や農道、耕作地に大きな被害が出ている。緊急を要するのに予算がなく、町民に不便をきたしている。すぐに対応できるよう緊急復興事業費の拡充をすべきではないか。

答弁 町長＝可能な限り早急な復旧に努めているが、小規模災害は町内全域におよび被災箇所も多く、全てに対し短期間に対応することは困難である。被災現場を調査し公共性や緊急性及び農家間の平等性等を慎重に検討し、予算の範囲内で優先順位をつけて仮設及び復旧を実施している。町道の維持管理には、通常の管理費用や梅雨期及び台風時等の異常気象時の維持管理費用も含めて、土木費の道路橋梁維持費で対応している。今後とも予算計上時には所要額の把握を行い迅速に対応できるように努めていく。

質問 正名地区の県道拡張を早期に実現させるべきではないか。

答弁 町長＝正名地区改良事業については、地区からの要望を受け、県に対して地域の実情を説明し早期着工をお願いしてきたが、現在のところ事業実施の目途は立っていない。しかしながら、本地区の県道改良は本町の道路行政の大きな懸案であり、今後とも早期に事業実施ができるよう努力していく。

質問 平成二十四年度知名町こども議会後の実現可能な対策はどうなっているのか。

答弁 町長＝十月二十七日から二十八日の午前中に、ボルカ鹿児島の選手五名を招聘してサッカー教室を開催する。

質問 こどもたちの再質問を増やして充実したこども議会にしてもらいたい。

答弁 町長＝前回より再質問する子ども達が増えたことは非常に良かったと思う。今後、日程等工夫して、より有意義なこども議会となるようにしていく。

質問 葉タバコ農家の支援策として、昨年に引き続き廃ビニールの処理助成及び新規借り入れに対する利子補給（二％以内）を要請したい。

答弁 町長＝昨年は、昭和五十年にたばこ耕作を開始して以来の壊滅的な被害ということで、農家支援を行なった。今期は、低単収であったものの1戸あたり五六二万六千円を確保しており、昨年とは若干様相が違うと認識している。

質問 さとうきびの二回目の防除事業実施に向けた体制づくりはできているのか。

答弁 町長＝新植夏植えを対象として二回目の一斉防除は、①ブームスプレイヤーを活用した委託防除 ②各支部の防除班による防除 ③散水車による防除 ④農家個々による防除など、各支部主体の取り組みで実施する予定である。

質問 メイチュウ防除の新たな「交信かく乱法」普及への取り組みは。